令和６年度重点目標達成のための行動計画（アクションプラン）

高岡市立こまどり支援学校

具体的な達成目標

○日常的な体調管理と災害から命を守るための意識の高揚　　→　学校評価の肯定的評価９０％以上

児童生徒に応じたよりよい生活習慣を身に付け、学びに向かうための体調の維持管理に努めるとともに、災害時には協力動作を行うなど、自らの命を守るための適切な行動をとることができるよう意識の高揚を図る。

○個に応じた表現方法の獲得とコミュニケーション能力の向上→　学校評価の肯定的評価９０％以上

児童生徒一人一人の実態に応じた表現方法の開発と表現力の育成に取り組み、相手に思いや考えが伝わる喜びを味わうことで、身の回りの人に進んで働きかけていこうとする態度を身に付けることができる。

前年度

「学びに向かうための体調の維持管理と学習意欲の向上」は、肯定的評価が、教員、保護者ともに【１００％】、「様々な表現方法を工夫したコミュニケーション能力の向上」は、肯定的評価が、教員、保護者ともに【１００％】の高評価を得て、両項目において目標としていた【９０％以上】を達成することができた。

今年度

こまどり版４つの力のうち、「Ⅰ健康を保持する力」「Ⅱ見通し、課題をもつ力」を育てるために、一人一人の実態に応じた命と健康を守るための意識の高揚と実践力の向上を目指す。

また、「Ⅲ見聞きし、考える力」「Ⅳ集団の中で生きる力」を育てるために、様々な表現方法を工夫して、相手に自分の思いや考えを伝えるコミュニケーション能力の向上を目指す。

学校教育目標

自己の可能性を伸ばし共生社会の一員として明るく強く生きる児童生徒の育成

行動Ⅰ

日常的な体調管理と災害から命を守るための意識の高揚

調和のとれた運動・食事・休養について継続的に指導し、学びに向かうための体調維持に努めるとともに、安全指導や避難訓練を通して、災害が起きた際には、自らの命を守るための適切な行動を身に付けていこうとする意識を高める。

①保護者との情報交換に努め、健康状態の把握と体調に合わせた学習活動の計画・実践を行う。
②個に応じたストレッチやマッサージ、体操等を取り入れ、運動機能の維持・向上を図る。
③安全教育や防災教育の充実を図り、個に応じた協力動作を具体的に指導し、身に付けさせる。
④様々な避難訓練を通して、緊急時の適切な避難について経験を積ませることで実践力を養う。

個に応じた表現方法の獲得とコミュニケーション能力の向上

一人一人がもつ力を発掘し、それを生かした表現方法を工夫することで、思いや考えが伝わる喜びを味わい、進んで人と関わろうとする態度を育てる。

①感情が動く際の表情や体の動きを観察し、共感的な声かけを行うことで伝わる喜びを味わわせる。
②手サインやシンボルカード、写真カード等を活用することで、意思表示する意欲を喚起する。
③学習専用端末を活用し、個に応じた伝達方法の開発及び指導を行うことで、技能の獲得を図る。
④学校行事や集会等、身に付けた表現方法で発表する場を工夫することで、豊かな表現力を養う。
⑤学習の成果を保護者に伝え、目指す将来像を共有することでキャリア発達を見通した指導を行う。

中間評価

中間評価

教員・保護者・児童生徒のアンケートにアクションプランの達成度を問う項目を設け、集計し評価を行う。
・児童生徒の達成状況を評価する。
・教職員の手立てについて評価する。
・授業や活動の改善に向け、計画を見直す。

行動Ⅱ

日常的な体調管理と災害から命を守るための意識の高揚

行動Ⅰの修正と①～④の継続

個に応じた表現方法の獲得とコミュニケーション能力の向上

行動Ⅰの修正と①～⑤の継続

年度末評価

年度末評価

教員・保護者・児童生徒のアンケートにアクションプランの達成度を問う項目を設け、集計し評価を行う。
・児童生徒の達成状況を評価する。
・評価結果を保護者向け案内で公開する。
・学校評議員会で評価結果を示し、意見を仰ぐ。

次年度

次年度の達成目標

指導・支援の成果と課題を明確にして、次年度の重点目標を見直し、達成目標を設定する。